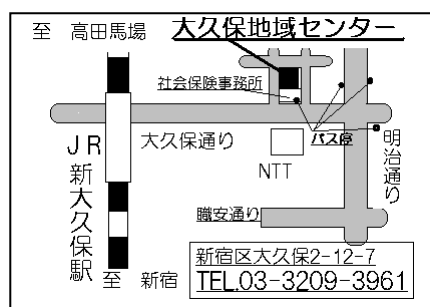


NPO 法人建築ネットワークセンター

東日本大震災被災地視察報告

津波・原発・液状化を考えるつどい

と き 6月4日(土) 午後1時30分開場、2時～4時半
と ころ 大久保地域センター3階A会議室(新大久保駅から徒歩8分)
会 費 500円(資料代)
主 催 NPO 法人建築ネットワークセンター
電話03-5386-0608



テーマと報告者

1. 岩手・宮城被災地視察報告…藤井勝明氏(一級建築士)
2. 浦安市液状化・旭市津波被害視察…荻野広己氏(一級建築士)
浦安市住民からの報告…井原めぐみ氏
3. 地盤と液状化について…小松田精吉氏
(建築ネット理事長・工学博士)
4. 福島原発災害と今後の見通し…柳町秀一氏
(原発問題住民運動全国連絡センター事務局長)

3月11日に宮城県沖でマグニチュード9の巨大地震が発生し、地震・津波・原発などで大きな震災を被りました。あらためて亡くなった方のご冥福と被災した方々にお見舞いを申し上げます。

建築ネットワークセンターは、ただちに「対策委員会」を設置し、救援復興募金、被害に対する相談活動、被災地への視察・調査活動を行ってきました。3月22日、千葉県浦安市の液状化被害、3月31日、千葉県旭市の津波による被害、4月5日～8日宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市・大船渡市・釜石市・宮古市・久慈市など津波による壊滅状況を視察しました。

その中間報告といま大きな不安をいただいている原発問題などをみなさんとともに考えていくため、上記のような「つどい」を開催します。マスコミでは報道していないことについても報告する予定です。

ぜひ、お集まりください。お待ちしております。

